



十六銀行



十六総合研究所

2024年8月28日

各位



株式会社奥田縫製とのポジティブインパクトファイナンス契約の締結について

株式会社十六銀行（頭取 石黒 明秀、以下「当行」といいます。）および株式会社十六総合研究所（社長 佐竹 達比古、以下「当社」といいます。）は、株式会社奥田縫製（代表取締役 奥田 武彦）とポジティブインパクトファイナンス（以下「P I F」といいます。）契約を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせします。

P I Fは、当行および当社にて、事業者さまの活動が外部（環境・社会・経済）に与えるインパクト（影響）を評価（特定・分析）し、ポジティブなインパクトの創出とネガティブなインパクトの低減に資するK P Iを設定のうえ、定期的なモニタリングを通じてその達成に向けた取組みを支援していくことを目的とする資金調達手段です。

当行および当社は、P I Fを通じて事業者さまと共通価値の創造をはかり、ともに持続的な成長を目指してまいります。

記

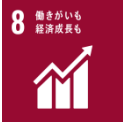
1. P I F契約概要

コ ー ス	ローンコース
融資金額	100百万円
資金使途	運転資金
期 間	7年

2. 企業概要

所 在 地	岐阜県岐阜市東川手2丁目54番地
事業内容	学生服用ズボン、ビジネススラックス等製造・卸売
設 立	1973年6月
資 本 金	11百万円

3. インパクト評価（要旨） ※ 詳細は後掲の「評価書」をご参照ください。

特定インパクト	K P I	関連SDG s
衣料供給を通じたウェルビーイングの実現	・ 2030年5月期における売上高を20億円以上とする。 （2023年5月期実績：13.4億円） ・ 2030年5月期における売上全体に占めるオリジナルブランドの売上比率を10%以上とする。 （2025年より販売開始を予定。）	
カーボンニュートラルの実現	・ 2030年度（2030年4月～2031年3月末）におけるScope 1, 2排出量を2022年度実績比で42%削減する。 （2022年度実績：1,216 t-CO2）	 
働きやすい職場環境づくり	・ 2030年度（2030年4月～2031年3月末）における、国内生産拠点の一人当たり月平均残業時間を10時間以内とする。 （2023年度実績：約20時間）	

以 上

【本件ご照会先：経営企画部 広報・IR室 TEL 058-266-2511】

株式会社奥田縫製
ポジティブインパクトファイナンス評価書

2024 年 8 月 28 日



人と、地域と、未来をむすぶ

十六総合研究所

十六総合研究所は、十六銀行が株式会社奥田縫製（以下、「奥田縫製」）に対してポジティブインパクトファイナンス（以下、「PIF」）を実施するにあたって、同社の事業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブインパクトおよびネガティブインパクト）を分析・評価した。この分析・評価は、国連環境計画金融イニシアティブ（UNEP FI）が提唱した PIF 原則および PIF 実施ガイド（モデル・フレームワーク）、ESG 金融ハイレベル・パネルにおいてポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則ったうえで、十六総合研究所が十六銀行と共同で開発した評価体系に基づいている。



人と、地域と、未来をむすぶ

十六総合研究所

目次

1. 企業概要と理念、サステナビリティ	- 3 -
(1)奥田縫製の概要	- 3 -
(2)奥田縫製のサステナビリティ	- 4 -
2. インパクトの特定	- 5 -
(1)事業性評価	- 5 -
(2)バリューチェーン分析	- 6 -
(3)インパクトレーダーによるマッピング	- 7 -
(4)特定したインパクト	- 10 -
(5)インパクトニーズの確認	- 13 -
(6)ポジティブインパクトに対する追加性、十六銀行との方向性の確認.....	- 16 -
3. インパクトの評価	- 17 -
4. モニタリング	- 19 -
(1)奥田縫製におけるインパクトの管理体制	- 19 -
(2)当社によるモニタリング	- 19 -



人と、地域と、未来をむすぶ

十六総合研究所

1. 企業概要と理念、サステナビリティ

(1)奥田縫製の概要

【企業概要】

社名	株式会社奥田縫製
代表者	代表取締役 奥田 武彦
所在地	本社：岐阜県岐阜市東川手 2 丁目 54 番地 青森支店：青森県東津軽郡外ヶ浜町平舘根岸湯の沢 246 番地 1
関連会社	株式会社柏奥田縫製（青森県つがる市） 株式会社木造奥田縫製（青森県つがる市） ASIA VISTA MANUFACTURING CO., LTD.（ミャンマー） TEK NAY WUNN NI MANUFACTURING CO., LTD.（ミャンマー）
事業内容	学生服用ズボン、ビジネススラックス等製造・卸売
資本金	11 百万円
設立	1973 年 6 月
売上高	1,348 百万円（2023 年 5 月期）
従業員数	63 名（2023 年 5 月期）

奥田縫製は、岐阜県岐阜市に本社を、青森県内に 3 拠点・ミャンマー国内に 2 拠点の縫製工場を構え、主に学生服用のズボンや紳士服用のスラックス等の生産を手掛ける。本社は営業・財務・開発・生産管理の拠点として、青森県内の縫製工場は主に学生服用ズボンの生産拠点として、ミャンマー国内の縫製工場は主に紳士服用スラックスの生産拠点として、それぞれ機能している。

【企業理念】

同社では下記の企業理念を掲げている。

「企業理念」

私達は一針・一針丁寧な愛されるモノづくりをする。（変わらないモノづくり）
私達はお客様の立場に立ち安心な技術・品質を提供することで社会に貢献する。
一針入魂（価格競争ではなく価値競争）



人と、地域と、未来をむすぶ

16FG 十六総合研究所

(2)奥田縫製のサステナビリティ

同社は、企業活動を通じて、持続可能な社会の構築に向けた下記の取り組みを行っている。

「環境負荷の軽減に向けた取り組み」

アパレル業界においては、製品包装に伴うプラスチック廃棄物の発生が問題視されるなか、同社は包装用のビニールに生分解性のものを採用している。これにより、廃棄物から発生する環境への負荷の低減を企図している。

また、近時においては各拠点から生じる温室効果ガスの排出量のモニタリングを開始し、事業活動から生じる更なる負荷の低減に努めている。

「働きやすい職場環境の整備」

同社では、定時退社を励行し、「残業ゼロ」を目指している。生産拠点においては、自動化を進め従業員の労働負荷の低減に努めるほか、余裕を持った人員体制を整備している。同社の生産拠点では、子どもや孫を持つ女性が多く活躍しているが、学校行事や急病、その他の事情等にも柔軟に対応し、有給取得がしやすい職場風土を整えている。

「学生服のジェンダーレス対応」

近時においては、「多様性に対応する学生服の在り方」が全国各地の学校で問われるようになり、性別で制服のアイテムを絞らずに選択の幅を広げることが社会的なニーズとして高まりつつある。学生服用のズボン縫製を手掛ける同社においても、幅広いサイズやアイテムの学生服を提供することで、これらの社会的なニーズに対応している。

「海外サプライチェーンの人権侵害リスク対応」

グローバルなアパレルのサプライチェーン上では、奴隷労働や児童労働といった、人権侵害のリスクが度々指摘される。海外に拠点を構える同社においては、現地従業員の適切な労務管理と健康診断・健康管理を徹底するとともに、定期的に第三者評価機関の視察を受け、これらの人権侵害が発生していないことを確認している。



人と、地域と、未来をむすぶ

十六総合研究所

2. インパクトの特定

(1)事業性評価

同社の強みとして、創業 50 年以上のメンズスラックスの縫製実績を誇り、様々な使用・加工方法への対応が可能なのが挙げられる。

国内の 3 工場においては年間約 23 万本の学生服用ズボンの生産能力を誇る。近時においては、ジェンダーレス対応の制服の生産も手掛ける等、多様化する消費者のニーズに応える技術力・生産力が強みである。

ミャンマーヤンゴン市にも、「ASIA VISTA MANUFACTURING」と「TEK NAY WUNN NI MANUFACTURING」の 2 工場を構え、「ASIA VISTA MANUFACTURING」においては 1 ライン当たり日産約 300 着の生産能力を誇るラインを 5 ライン、「EK NAY WUNN NI MANUFACTURING」においては 1 ライン当たり日産約 400 着の生産能力を誇るラインを 2 ライン構え、スラックスを中心に生産している。

アパレル業界においては、需要予測が難しいこと、「製品企画→生産→販売」までの一連の流れが長期化しやすいこと等を起因として生じる過剰生産・過剰在庫等が業界課題として挙げられる。同社は QR 対応¹を実施することで、業界課題の解決に向けて取り組んでいる。サプライチェーン全体として、適切に需要予測を行うことで、コストの削減・在庫の最適化等を実現している。

さらに、近時においては、これまでスラックスの縫製加工で培ってきた技術力をもとに、ファスナーレスで伸縮性のあるドレスパンツを新たに開発するとともに、オリジナルファクトリーブランド「PURSHAPE」を新たに立ち上げた。多様化する消費者のニーズに応えるべく、オリジナルブランドの拡販にも取り組んでいく方針である。

¹ QR（クイック・レスポンス）対応：サプライチェーン全体で情報を共有し、売上に連動して商品を製造する仕組み

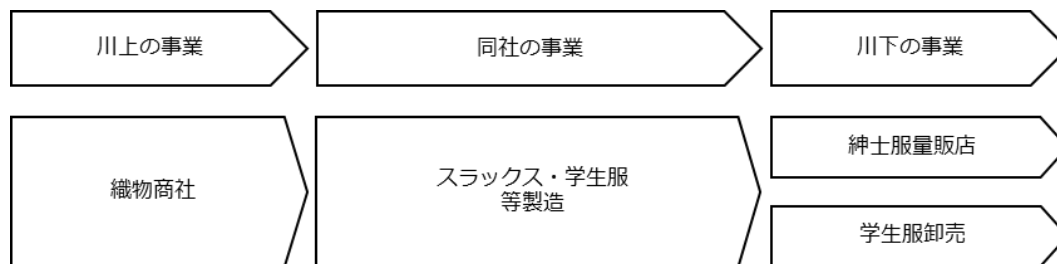
(2)バリューチェーン分析

同社は、主に学生服用のズボンや紳士服用スラックスの OEM 生産を手掛けている。

織物商社より原材料を仕入れ、日本国内では学生服の縫製加工を、ミャンマーの現地工場においてはスラックスの縫製加工を、それぞれ手掛けている。学生服については国内の大手学生服卸売事業者へ、スラックスについては国内の大手紳士服量販店事業者へそれぞれ販売している。

近時においては、OEM 生産のみならず自社ブランドの企画・生産も開始し、多様化する消費者のニーズへ対応している。

●バリューチェーン図



(3)インパクトレーダーによるマッピング

先述のバリューチェーン分析の結果をもとに、インパクトマッピングを実施した。

●インパクトマッピング（インパクトレーダー改訂版 2022 に基づき十六総研作成）

バリューチェーン			川上の事業 4641		同社の事業 1410		川下の事業 4641		川下の事業 4771	
国際標準産業分類			繊維、衣料及び履物 卸売業		衣服製造業（毛皮製 衣服を除く。）		繊維、衣料及び履物 卸売業		専門店による衣料、履 物及び皮革製品 小売業	
大分類	インパクトエリア	インパクトトピック	PI	NI	PI	NI	PI	NI	PI	NI
社会	人格と人の 安全保障	紛争								
		現代奴隷				●●				
		児童労働				●●				
		データプライバシー								
		自然災害								
	健康および安全性	－	●	●	●	●●	●	●	●	●
	資源とサービスの 入手可能性、 アクセス可能性、 手ごろさ、 品質	水				●●				
		食糧								
		エネルギー								
		住居								
		健康と衛生								
		教育								
		移動手段								
		情報								
		コネクティビティ								
		文化と伝統								
		ファイナンス								
	生計	雇用	●		●	●●	●		●	
		賃金	●		●	●●	●		●	
		社会的保護		●		●		●		●
	平等と 正義	ジェンダー平等				●●				
		民族・人権平等								
		年齢差別								
		その他の社会的弱者				●●				
社会 経済	強固な制度・ 平和・安定	市民的自由								
		法の支配								
	健全な経済	セクターの多様性								
		零細・中小企業の繁栄	●		●		●		●●	
	インフラ	－								
自然 環境	経済収束	－								
	気候の安定性	－		●		●		●		
	生物多様性と 生態系	水域		●		●●		●		
		大気		●		●		●		
		土壌								
		生物種		●				●		
		生息地		●				●		
	サーキュラリティ	資源強度				●●				
		廃棄物		●		●●		●		●

マッピング中の「●●」は重要な影響があるトピック、「●」は影響があるトピックを示している。



人と、地域と、未来をむすぶ

十六総合研究所

同社と同社の川上・川下の事業を国際標準産業分類（ISIC）上の業種カテゴリに適用させたいえ、UNEP FI が提供するインパクトレーダーを用いて「ポジティブインパクト」（以下 PI）と「ネガティブインパクト」（以下 NI）を想定する。

同社の事業については「衣服製造業（毛皮製衣服を除く。）（ISIC:1410）」を、同社の川上の事業については「織物、衣料及び履物卸売業（同 4641）」を、同社の川下の事業については「織物、衣料及び履物卸売業（同 4641）」「専門店による衣料、履物及び皮革製品小売業（同 4771）」をそれぞれ適用し、発生するインパクトの検証を行った。

【川上の事業】

川上の事業においては、同社が与える影響が希薄であると判断し検証を省略した。

【同社の事業】

同社の事業においてはインパクトレーダー上で発現が指摘されるインパクトエリアを網羅的に検証する。

「人格と人の安全保障（現代奴隷、児童労働）」「平等と正義（ジェンダー平等、その他の社会的弱者）」のエリアにおいては、縫製の製造現場における強制労働や性差別等の人権侵害リスクが NI として指摘される。

同社では海外生産拠点の労務管理、従業員の健康管理を徹底することでこれらのリスク根絶に努めている。

SDGs では以下のターゲットに該当すると考えられる。

- ・「8.7:強制労働・奴隷制・人身売買を終らせ、児童労働をなくす」

「健康および安全性」のエリアにおいては、衣服の供給を通じたウェルビーイングの実現という PI と、製造現場における従業員の労働負荷が NI として指摘される。

同社では、長年ドレスパンツの縫製で培ってきたノウハウを活かし、履きやすさや快適性を重視した商品を新たに開発、供給することで PI の拡大に努める方針である。また、従業員の労務管理を徹底し、時間外労働の削減に努めることで NI の低減に努める方針である。

SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

- ・「3.4:非感染性疾患による若年死亡率を減少させ、精神保健・福祉を促進する」
- ・「8.8:労働者の権利を保護し、安全・安心に働けるようにする」

「生計（雇用、賃金）」のエリアにおいては、従業員の雇用や生計の創出という PI が指摘される。



人と、地域と、未来をむすぶ

十六総合研究所

同社は有給休暇取得の積極的な推奨等、働きやすい労働環境を整備することでこの PI の拡大を企図している。

SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

- ・「8.5:雇用と働きがいのある仕事、同一労働同一賃金を達成する」
- ・「8.8:労働者の権利を保護し、安全・安心に働けるようにする」

「気候の安定性」のエリアにおいては、製造活動に伴う温室効果ガスの排出が NI として指摘される。

同社は事業活動から生じる温室効果ガスを把握、適切に管理していくこと、生産拠点での電気使用量を厳格に管理することで、この NI の緩和に努める方針である。

SDGs では以下のターゲットに該当すると考えられる。

- ・「7.3:エネルギー効率の改善率を増やす」
- ・「13.3:気候変動の緩和、適応、影響軽減及び早期警戒に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する」

「サーキュラリティ（資源強度廃棄物）」のエリアにおいては、生産に伴うエネルギーの投入、製品包装に伴う廃棄物の発生などの NI が指摘される。

同社では QR 対応を実施し、過剰生産・過剰在庫を抑制することで、過剰なエネルギー使用の防止に努めている。また、商品包装のビニールに生分解性のものを採用することで廃棄物低減にも寄与している。

SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

- ・「12.2:天然資源の持続可能な管理及び効率的な利用を達成する」
- ・「12.5:廃棄物の発生を減らす」

なお、「資源とサービスの入手可能性、アクセス可能性、手ごろさ、品質（水）」「生計（賃金、社会的保護）」「生物多様性と生態系（水域・大気）」のエリアにおける NI および「健全な経済（零細・中小企業の繁栄）」における PI については、同社事業との関連性が希薄であると判断し、検証を省略した。

【川下の事業】

川下の事業で発生するインパクトについては、同社の事業で発生するインパクトとその領域が重複するため、具体的な検証は省略。

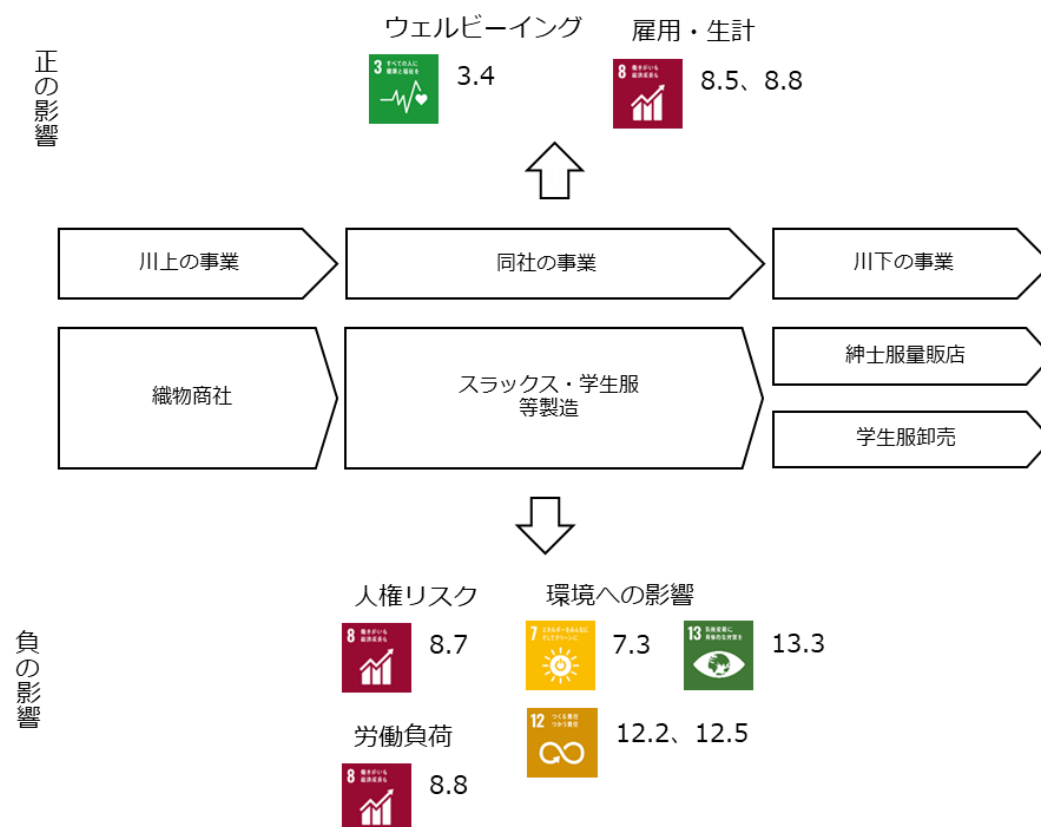


人と、地域と、未来をむすぶ

十六総合研究所

(4)特定したインパクト

下図は「バリューチェーン分析」「インパクトマッピング」の結果を踏まえて、同社のバリューチェーンが与えるインパクトを可視化したものである。



以上を踏まえて同社のインパクトを下記のように特定した。

- 衣料供給を通じたウェルビーイングの実現
- カーボンニュートラルの実現
- 働きやすい職場環境づくり



人と、地域と、未来をむすぶ

十六総合研究所

■ 衣料供給を通じたウェルビーイングの実現

同社はこれまで主に学生服用ズボンやビジネススラックスの OEM 生産を通じて、社会にポジティブな影響を与えてきた。今後は自社オリジナルブランドの拡販を通じて社会に一層ポジティブな影響を与えていく。

同社においては、オリジナルファクトリーブランド「PURSHAPE」を新たに展開している。「PURSHAPE」は、追い求める（PURSUE）と形作る（SHAPE）を組み合わせた造語である。長年のドレスパンツの縫製で培ってきた技術力を「追求した形」での商品を展開していく方針であり、近時においてはその一環として、ファスナーレスで伸縮性のあるドレスパンツを新たに開発した。今後においても、履きやすさや快適性を実現した商品の展開を拡大していく。自社の事業規模の拡大と併せて、消費者のウェルビーイングの実現により寄与していくことで、ポジティブインパクトの拡大に努めていく方針である。

このインパクトはUNEP FIのインパクトレーダーでは「健康および安全性」のエリアに該当し、社会的側面のPIを拡大すると考えられる。

SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

・「3.4:非感染性疾患による若年死亡率を減少させ、精神保健・福祉を促進する」

●ブランドロゴ



●ファスナーレスドレスパンツ



■ カーボンニュートラルの実現

同社は、近時より自社の事業活動から生じる温室効果ガスの排出量に関するモニタリングを開始し、排出量の削減に向けた各種具体的な取組みを検討中である。

同社においては、海外も含めた各生産拠点における電力の使用やジェネレーター稼働に伴う軽油の使用等が主な排出源となっている。今後は、高効率な設備への転換や太陽光発電システムの導入等新たな施策を検討し、排出量の削減につなげていく方針である。

このインパクトは UNEP FI のインパクトレーダーでは「気候の安定性」のエリアに該当し、環境的側面の NI を緩和すると考えられる。

SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

- ・「7.3:エネルギー効率の改善率を増やす」
- ・「13.3:気候変動対策に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する」

■ 働きやすい職場環境づくり

同社では本社においては「残業を限りなくゼロ」に近づけており、今後は国内の生産拠点における残業時間の削減を目指していくことで、より一層従業員が働きやすい環境を整備していく方針である。

具体的には、「人の手」による縫製作業を削減することに加え、機械化を進めていくことで時間外労働の削減につなげていく。

このインパクトは UNEP FI のインパクトレーダーでは「健康および安全性」のエリアに該当し、社会的側面の NI を緩和すると考えられる。

SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

- ・「8.8:労働者の権利を保護し、安全・安心に働けるようにする」



人と、地域と、未来をむすぶ

十六総合研究所

(5)インパクトニーズの確認

①日本におけるインパクトニーズ

国内におけるSDGインデックス&ダッシュボードを参照し、そのインパクトニーズと同社のインパクトとの関係性を確認した。

本PIFにおいて特定したインパクトに対応するSDGsのゴールは、以下4点である。

- ・「3:あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」
- ・「7:すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する」
- ・「8:包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する」
- ・「13:気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる」

国内におけるSDGダッシュボード上では、「13」については「大きな課題が残っている」、「7」「8」については「重要な課題が残っている」、「3」については「課題が残っている」とされており、同社がカーボンニュートラルに取り組むこと、ウェルビーイングの実現に資する商品を展開すること等が、国内におけるインパクトニーズと一定の関係性を有することを確認した。



(出所：SDSN)



人と、地域と、未来をむすぶ

十六総合研究所

②海外におけるインパクトニーズ

また、同社が拠点を有するミャンマーにおけるインパクトニーズについても、SDG インデックス&ダッシュボードを参照し、同社のインパクトとの関係性を確認した。

同社が拠点を有するミャンマーにおいても「7」「8」についてのニーズは非常に高く、同社が高効率な設備への転換を進め温室効果ガスの排出につなげていくこと、サプライチェーン上の人権侵害の排除に努めること、等の取組みがミャンマーにおけるインパクトニーズと一定の関係性を有することを確認した。



(出所：SDSN)

③岐阜県におけるインパクトニーズ

また、同社の事業活動が地元岐阜県を中心として行われているため、「岐阜県 SDGs 未来都市計画（第 2 期）」を参照し、岐阜県内における SDGs 達成に向けての課題を確認した。

下記のとおり、岐阜県は「温室効果ガス削減に向けた取組み」を SDGs 達成に向けての課題とするなか、同社のカーボンニュートラル達成に向けた取組みが岐阜県におけるインパクトニーズと一定の関係性があることを確認した。

「岐阜県 SDGs 未来都市計画（第 2 期）」より今後取り組む課題を抜粋

（環境）

- ・ 地球温暖化により大雨の頻発化、降水日数の減少、動植物の分布域の変化等の気候変動の影響が生じており、地球温暖化の要因となる温室効果ガス削減に向けた取組みや、気候変動の影響による被害の防止・軽減を図る取組みが必要となっている。
- ・ 近年、プラスチックごみによる海洋汚染が深刻化し、生態系や人の健康への影響が懸念されている。また、国内の食品ロスは、世界の食料援助量の 1.2 倍に相当する 522 万 t に上っている。限りある地球資源を有効に活用していくため、大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会からの脱却を図り、地下資源（化石燃料、鉱物資源等）依存から再生可能な地上資源（樹木、農産物等）への転換を進めていく必要がある。
- ・ 開発等による自然環境への影響や野生生物の領域への過度の干渉等の状況を踏まえ、改めて生態系や生物多様性の価値と機能を見つめ直し、自然と人が共生できる社会の確立が必要となっている。

（経済）

- ・ 本県の様々な産業において、人口減少・少子高齢化、人材の都市部への集中などによる人手不足が深刻化しており、人材の確保・育成とともに、多様な働き方への対応や生産性の向上が急務となっている。また、デジタル技術を活用したビジネス変革が求められているが、専門的なスキルや知識を持つ人材が不足している。
- ・ 新型コロナウイルス感染症等によるライフスタイルや原油・原材料価格や物価の高騰、急激な円安等による社会経済情勢の変化は、特に、中小企業・小規模事業者の経営を圧迫しており、事業継続と変化に強い経営体質や産業構造へのシフトが必要となっている。

（社会）

- ・ 持続可能な社会の実現には、多様性を認め合い、女性や障がい者、外国人、高齢者など、誰もが



人と、地域と、未来をむすぶ

十六総合研究所

社会参画の機会を持ち、活躍でき、生きがいを得られる社会的包摂が重要となっている。

- ・ 将来を担う子どもたちが、地域社会の一員として考え行動できる人材となるよう、ふるさと岐阜への誇りと愛着を育むふるさと教育や産業教育、デジタル化や SDGs といった課題にも対応できる教育が必要である。
- ・ 地域の医療提供体制を確保するため、医師不足や、地域偏在等を解消する必要がある。また、高齢化等に起因する要介護者の増加に伴い福祉人材が求められているが、不足している。
- ・ 地域課題にとどまらず、環境問題や食料問題、世界平和等、グローバルな課題にも対応する必要がある。

(6) ポジティブインパクトに対する追加性、十六銀行との方向性の確認

ここでは特定した PI について追加性があること、十六銀行の SDGs の取組みと方向性が同じであることを確認する。本 PIF で特定した PI は「衣料供給を通じたウェルビーイングの実現」である。

同社は、これまでのドレスパンツの縫製で培ってきた技術力を活かした着心地の良い商品を展開・拡販することで人々のウェルビーイングの実現に寄与する方針であり、追加性があるものと評価できる。

十六フィナンシャルグループでは、「十六フィナンシャルグループSDGs宣言」の中で「地域社会の活性化」「地域社会の持続的発展」「多様な人材の活躍推進」「環境保全と気候変動対策」「ガバナンスの高度化」の5つをSDGs達成に向けた重点課題（マテリアリティ）としている。本 PIF で特定したインパクトは「地域社会の活性化」と、方向性が一致する。

以上から、本 PIF の取組みは追加性のある PI 創出支援を行うものであり、その本源的目的との合致を確認したうえで SDGs 達成に向けた資金需要と資金供給とのギャップを埋めることを目指すものである。



人と、地域と、未来をむすぶ

十六総合研究所

3. インパクトの評価

ここでは、特定したインパクトの発現状況を今後も測定可能なものにするため、先に特定したインパクトに対し、それぞれに KPI を設定する。

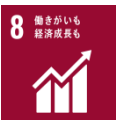
■ 衣料供給を通じたウェルビーイングの実現

項目	内容
インパクトの種類	社会的側面においてポジティブインパクトを拡大
インパクトエリア	「健康および安全性」
関連する SDGs	
内容・対応方針	・オリジナルブランド「PURSHAPE」(ファスナーレスで伸縮性のあるドレスパンツ等)の拡販や自社事業規模の拡大によって、消費者のウェルビーイングの実現に寄与する。
KPI	・2030 年 5 月期における売上高を 20 億円以上とする。 (2023 年 5 月期実績：13.4 億円) ・2030 年 5 月期における売上全体に占めるオリジナルブランドの売上比率を 10%以上とする。 (2025 年より販売開始を予定。)

■ カーボンニュートラルの実現

項目	内容
インパクトの種類	環境的側面においてネガティブインパクトを緩和
インパクトエリア	「気候の安定性」
関連する SDGs	 
内容・対応方針	・太陽光発電システムの導入や高効率設備への移行等を順次進めていくことで、事業活動から生じる温室効果ガスの排出量削減につなげる。
KPI	・2030 年度（2030 年 4 月～2031 年 3 月末）における Scope1,2 排出量を 2022 年度実績比で 42%削減する。（2022 年度実績：1,216t-CO2）

■ 働きやすい職場環境づくり

項目	内容
インパクトの種類	社会的側面においてネガティブインパクトを緩和
インパクトエリア	「健康および安全性」
関連する SDGs	
内容・対応方針	・生産設備の自動化を進めていくことで、従業員の労働負荷軽減につなげる。
KPI	・2030 年度（2030 年 4 月～2031 年 3 月末）における、国内生産拠点の一人当たり月平均残業時間を 10 時間以内とする。（2023 年度実績：約 20 時間）



人と、地域と、未来をむすぶ

十六総合研究所

4. モニタリング

(1)奥田縫製におけるインパクトの管理体制

同社では、奥田社長、服部部長の両名が中心となり自社業務や事業計画などの棚卸を行い、本 PIF におけるインパクトの特定並びに KPI の策定を行った。

今後については、SDGs 推進のプロジェクトチームである奥田部長、奥田課長を中心に SDGs の推進並びに本 PIF で策定した KPI の管理を行っていく方針である。

【モニタリング体制】

統括責任者	代表取締役 奥田 武彦 氏
プロジェクトリーダー	総務部 部長 服部 和則 氏
プロジェクトチーム	生産統括部 部長 奥田 政盛 氏 総括部 2 課 課長 奥田 賢吾 氏

(2)当社によるモニタリング

本 PIF で設定した KPI および進捗状況については、同社と十六銀行、十六総合研究所の担当者が定期的な場を設けて情報共有する。少なくとも年に 1 回実施するほか、日々の情報交換や営業活動を通じて実施する。



人と、地域と、未来をむすぶ

十六総合研究所

【留意事項】

1. 本評価書の内容は、十六総合研究所が現時点で入手可能な公開情報、奥田縫製から提供された情報や同社へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況进行评估したものであり、将来における実現可能性、ポジティブな成果等を保証するものではありません。
2. 十六総合研究所が本評価に際して用いた情報は、十六総合研究所がその裁量により信頼できると判断したものではあるものの、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。十六総合研究所は、これらの情報の正確性、適時性、網羅性、完全性、および特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明または保証をするものではありません。
3. 本評価書に関する一切の権利は十六総合研究所に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用（複製、改変、送信、頒布、譲渡、貸与、翻訳及び翻案等を含みます）、または使用する目的で保管することは禁止されています。



人と、地域と、未来をむすぶ

16FG

十六総合研究所